

# 2023年 3月期 通期 決算説明資料

2023年6月2日

エフビー介護サービス株式会社



東証スタンダード市場 (9220)



2023年3月期 連結決算の概況

2024年3月期 連結業績の予想

会社概要

当社の強みと今後の取り組み

Appendix

・2023年3月期においては、株式会社シルバーアシストの子会社化、福祉用具事業・介護事業の通年稼働による売上高は増収であったが、光熱費、特に電気料金や食材の高騰は想像以上の影響が大きいと認識をしている。光熱費、食材等の高騰については、介護事業において2022年11月に施設利用料の見直しをかけたものの、2024年3月期も継続し、更なるコスト増見込みと認識しているが、入居者の施設生活の楽しみの一つである「食」のグレードを変えることなく食材仕入れ、調理方法の変更や照明のLED化、新規施設については太陽光発電装置の設置準備を進めており、尚且つ利用者負担増も視野に入れ取り組む。

・昨今の介護人材の不足、また今後の介護離職や人材確保を補うため、非正規従業員の正規従業員への登用の実施、及び年間休日の増加を図るために実施した人的投資による費用が発生したため、今期の通期決算に影響を及ぼしている。しかし介護業界は全てが「人」で成り立っているため、今回の人的投資は今後益々懸念される介護人材の不足に対応する手段として必要不可欠であり、良い人材が良いサービスを提供することが、企業の存続要因の一つとして認識している。

・2022年3月期に発生した子会社株式の売却益が剥落し、2023年3月期は減損損失、及び関係会社出資金評価損の計上により、特別損失額が大幅に増加したこと、新規上場による資本金の増加等により法人税等が増加したことが、最終減益の大きな要因として認識をしている。今後、減損した事業所に対し更なるテコ入れを実施するとともに、2023年3月期に新規開設した4拠点（長野県松本市：看護小規模型居宅介護、長野県諏訪市：グループホーム、埼玉県羽生市：グループホーム、栃木県小山市：福祉用具営業所）を含めた各事業所の満室運営、福祉用具事業、在宅介護サービスの利用者の更なる増加をはかり真摯に経営改善に取り組む。

## 東証スタンダード市場に新規上場（2022年4月7日）

- 株式発行による調達資金 609百万円

## 栃木県小山市に福祉用具営業所 開設

- 栃木県県南エリアの利用者様にスピーディーな対応が可能

## 地域密着型サービス事業者の公募選定とM&Aへの取り組み

- 2023年3月期に5事業所開設、2024年3月から4月にかけて3事業所を開設予定
- 東京都多摩市の介護事業社を子会社化（2022年11月）

## 代表取締役の異動

- 経営陣の世代交代を図るため、当社創業後初めての代表者交代

- ▶ 売上高はコロナ禍でも福祉用具事業及び介護事業が共に順調に推移し、事業拡大(株式会社シルバーアシストの子会社化、新規事業所の開設)をはかり増収。
- ▶ 売上総利益及び営業利益は、既存の福祉用具営業や介護事業は順調に推移したものの、事業拡大による投資負担、物価高騰による食材費や光熱費等の上昇等の特殊要因により減益。
- ▶ 経常利益は新規事業所の開設等による補助金収入の増加により増益となったものの、当期純利益は減損損失等の計上により減益。

(百万円)

	2022年3月期	利益率	2023年3月期	利益率	前期比
売上高	9,185	—	9,619	—	+4.7%
売上総利益	1,556	16.9%	1,553	16.1%	▲0.2%
営業利益	649	7.1%	544	5.7%	▲16.2%
経常利益	647	7.1%	737	7.7%	+13.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	528	5.8%	444	4.6%	▲15.8%

(注)

補助金収入(182百万円)は営業外収益に計上されますが、主に介護事業で発生する費用を地方自治体が補助しているのが実情であり、補助金収入を営業コストと相殺したと仮定すると営業利益は実質的には増益と見ることができます。

## 福祉用具事業

- レンタル商材「手すり」「歩行器」のニーズ継続
- 栃木県小山市に営業所新規出店（2022年5月）

## 介護事業

- 在宅サービス分野の稼働率向上により収益改善
- 子会社（スマイル薬局）株式の譲渡による事業再編
- 2023年3月から4月にかけて、長野県松本市、諏訪市、埼玉県羽生市に計3ヶ所の施設を新規開設

- 福祉用具事業はレンタル売上を中心に増収を継続
- 介護事業はグループ企業再編による収益性の改善により大幅増益

## 【セグメント売上高構成比率】

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
福祉用具事業	4,036	4,385	349	+8.7%
介護事業	5,149	5,233	83	+1.6%
連結売上高 (合計)	9,185	9,619	433	+4.7%

## 【セグメント利益構成比率】

(百万円)

	2022年3月期	利益率	2023年3月期	利益率	増減額	前期比
福祉用具事業営業利益	271	6.7%	347	7.9%	75	+28.0%
福祉用具事業経常利益	272	6.8%	349	8.0%	76	+28.2%
介護事業営業利益	377	7.3%	196	3.8%	▲181	▲47.9%
介護事業経常利益	375	7.3%	386	7.4%	11	+3.1%
連結営業利益 (合計)	649	7.1%	544	5.7%	▲105	▲16.2%
連結経常利益 (合計)	647	7.1%	736	7.7%	88	+13.7%

- 福祉用具のレンタルは、継続的な利用者様が大半であり安定的な伸びを継続
- 利用者様の状態変化に伴い、一人の利用者様が複数の商品を利用

## 【介護保険対象の福祉用具レンタル利用者数】

(名)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 12月分まで
延べ利用者数 (1カ月平均)	18,324	19,268	20,295	21,465	22,503
前期比	+8.7%	+5.2%	+5.3%	+5.8%	+4.8%
※①②市場 (参考)	241,596	253,325	265,532	276,473	284,773
前期比	+4.7%	+4.9%	+4.8%	+4.1%	+3.0%

※①介護保険事業状況報告 月報 (暫定版) | 厚生労働省 (mhlw.go.jp) より (現時点での報告は2022年12月までの数値となっているため当社実績も同様としています)

※②市場は営業所が所在している5県 (長野、新潟、群馬、栃木、埼玉) の数値

(65才以上の高齢者割合の上昇)

2000年の高齢化率：17.4%

→2040年の高齢化率：35.3%を超える水準まで上昇する見込み

※総務省統計局2021年9月19日

「統計からみた我が国の高齢者【敬老の日】にちなんで」より

(利用者様のアフターフォロー)

福祉用具専門相談員の資格をもった専属のモニタリングメンバーにより、利用者様のレンタル商品の利用状況を定期的に確認を行います。ケアマネジャーとの連携により、利用者様の状態変化に応じて、適切な福祉用具の提供を中長期間に渡って継続します。

- 手すりなどの軽度な利用者様のニーズが高まる
- 売上高の増加に応じて、仕入れを継続的に強化

## 【種目別 福祉用具レンタル売上高】

(百万円)

レンタル種目分類	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	前期比
手すり	599	690	796	+ 15.4%
歩行器、歩行補助つえ	245	264	283	+ 7.2%

手すり …… 在宅での転倒防止になり、住居の様々な場所に設置できる商品開発が進む

## 【商品仕入れ状況】

- ・ コロナ禍の影響もあり、在宅で使用する手すりのレンタル売上高が増加
- ・ レンタル売上高の増加にあわせて、手すりの仕入れを継続

- ▶ 地域密着型の主要サービスをバランスよく運営。全てのサービス種別で増収を継続
- ▶ 介護報酬改正に対応し、前期からのサービス内容の向上等による売上増を継続

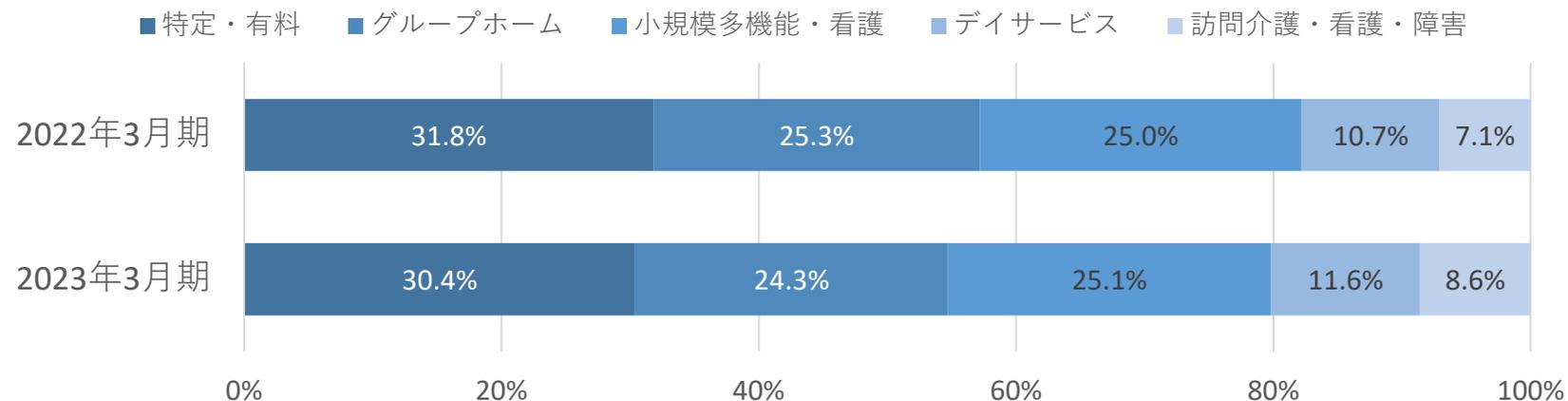
## 【サービス種別売上高推移】

（百万円）

サービス種別	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	前期比
特定・有料	1,439	1,507	1,520	+0.9%
グループホーム	1,053	1,201	1,214	+1.1%
小規模多機能・看護	1,088	1,185	1,258	+6.2%
デイサービス	475	508	580	+14.2%
訪問介護・看護・障害	302	335	430	+28.4%
合計	4,360	4,739	5,002	+5.5%

## 【サービス種別の売上高構成比（%）】

※シルバーアシストにおけるデイサービス、訪問介護、訪問看護を含む



関東方面への足掛かりとして、2022年11月、東京都多摩市の「株式会社シルバーアシスト」を子会社化し、事業展開の更なる強化をはかる。

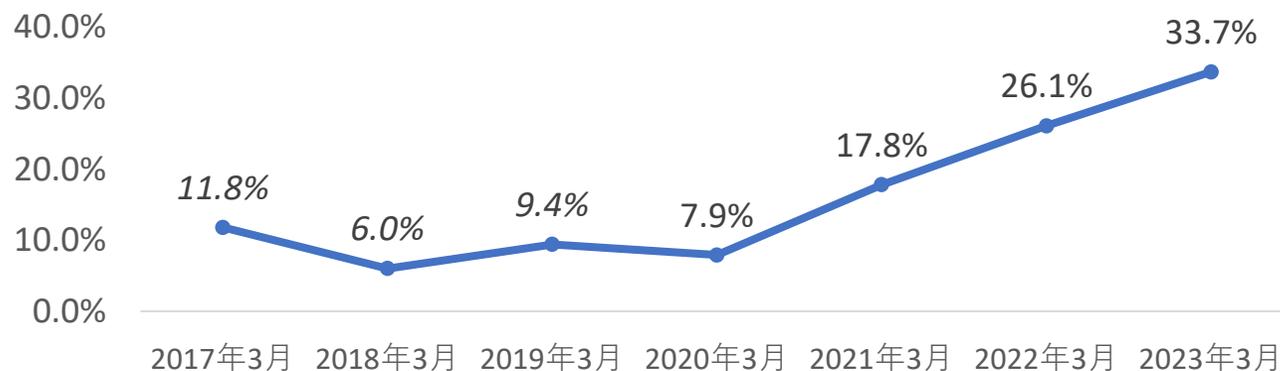
➤ 東京証券取引所への上場に伴う増資により、財務内容を強化

➤ 自己資本比率26.1%⇒33.7% ※7.6ポイント増加

(百万円)

	2022年3月末	構成比	2023年3月末	構成比	増減額
流動資産	3,370	43.8%	4,118	45.7%	748
固定資産	4,321	56.1%	4,900	54.3%	573
資産合計	7,698	100.0%	9,019	100.0%	1,321
流動負債	2,227	28.9%	2,689	29.8%	462
固定負債	3,462	45.0%	3,291	36.5%	▲ 171
(負債合計)	5,689	73.9%	5,981	66.3%	292
純資産合計	2,008	26.1%	3,037	33.7%	1,029
負債純資産合計	7,698	100.0%	9,019	100.0%	1,321

### 【自己資本比率推移】



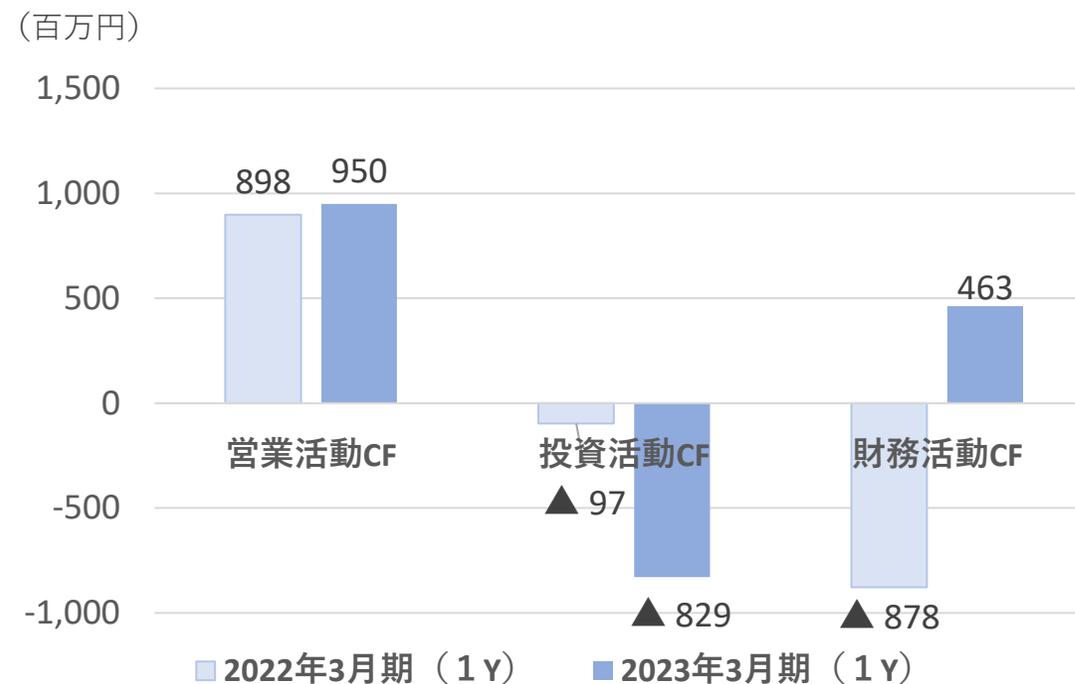
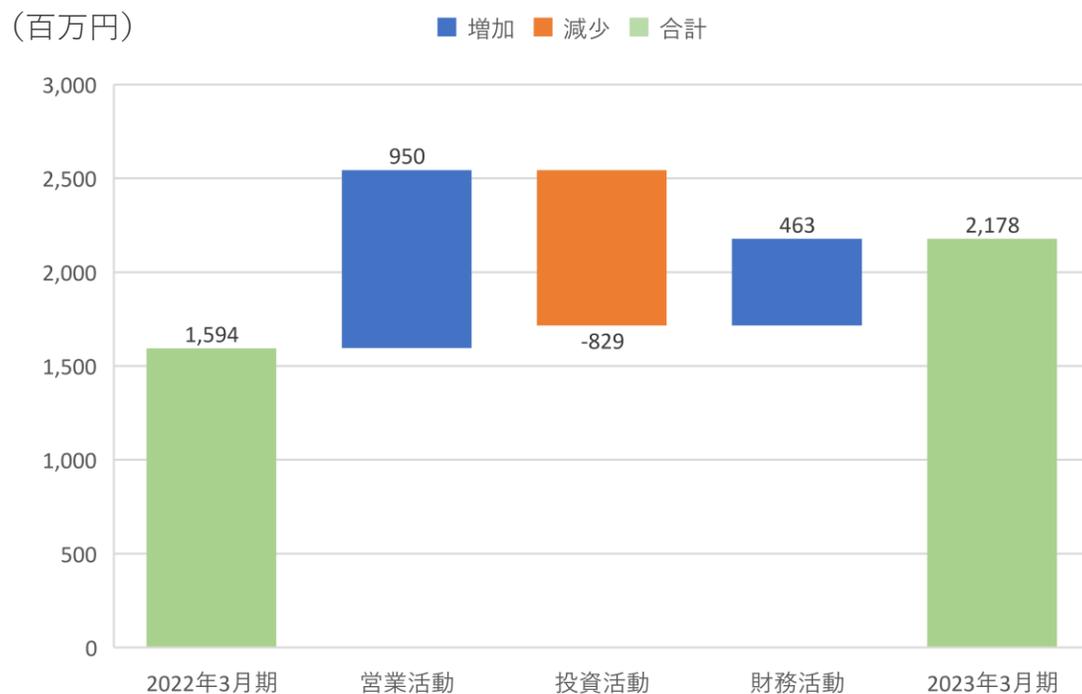
※2017年3月～2019年3月：単体  
2020年3月～：連結

- 2023年3月期の現金及び現金同等物の残高は2,178百万円
- 上場時の株式発行による増加分609百万円
- 介護施設の新設等に伴う投資（有形固定資産）742百万円

(百万円)

	営業活動CF	投資活動CF	財務活動CF	現金及び現金同等物の残高
2022年3月期(1Y)	898	▲ 97	▲ 878	1,594
2023年3月期(1Y)	950	▲ 829	463	2,178

## 【現金及び現金同等物の残高】



- ▶ 連結売上高は子会社化した株式会社シルバーアシストと2023年3月期に新設した5事業所(福祉用具1介護4)の通期稼働により前期比8.6%の増収を計画
- ▶ 2023年3月期に新設した5事業所等の投資負担、物価高騰による光熱費や食材費の上昇、人的資本の投下等によるコスト増も営業利益は増益を確保
- ▶ 補助金収入の減少により経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の減益を見込む

(百万円)

	2023年3月期 (実績)	利益率	2024年3月期 (計画)	利益率	前期比
売上高	9,619	—	10,449	—	+8.6%
営業利益	544	5.7%	552	5.3%	+1.4%
経常利益	737	7.7%	642	6.1%	▲12.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	444	4.6%	401	3.8%	▲9.8%

- 福祉用具事業：福祉用具のレンタル市場の拡大を背景に増収増益
- 介護事業：2023年3月に地域密着型の介護施設を3ヵ所新規開設予定

## 【セグメント売上高予想】

(百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画)	増減額	前期比
福祉用具事業	4,385	4,349	▲36	▲0.8%
介護事業	5,233	6,099	866	+16.5%
連結売上高 (合計)	9,619	10,449	830	+8.6%

## 【セグメント利益予想】

(百万円)

	2023年3月期 (実績)	利益率	2024年3月期 (計画)	利益率	増減額	前期比
福祉用具事業 営業利益	347	7.9%	344	7.9%	▲3	▲0.9%
介護事業 営業利益	196	3.8%	207	3.4%	11	+5.2%
連結営業利益 (合計)	544	5.7%	552	5.3%	9	+1.7%

(注)

2024年3月期から福祉用具事業に含めていた居宅介護支援事業が介護事業に変更になりました。

➤ 中長期の成長を目指し、事業基盤の強化に取り組む

## 【福祉用具事業】

### ■ 人への投資

- ・ 人事評価体系を刷新し、従業員のインセンティブとモチベーションを高める
- ・ 人事評価体系が適正に機能するよう、本部の機能を強化
- ・ 研修において、営業ナレッジの共有を図り営業力強化
- ・ 今後、M&Aを中心とした事業拡大に柔軟に対応するため、即戦力となる人員を選出すべく、それを補う優秀なスタッフの早期獲得をはかる

 市場拡大以上の成長を目指し、シェアアップをはかる

## 【介護事業】

### ■ 人への投資

- ・ 教育担当の専門部署を設置（介護サービスのレベルアップ、職種別、レベル別研修）
- ・ ダイバーシティの推進（海外人財受入れの再開）

### ■ ITインフラの活用

- ・ 各施設に導入済みのIT機器（タブレット等）の活用による業務の効率化

### ■ 2024年3月から4月にかけて介護施設新規開設(長野県2ヵ所、埼玉県1ヵ所)

 介護保険制度の次期改定を想定して、サービス提供体制の強化に取り組む

➤ 株主還元として2023年3月期より剰余金の配当を実施

## 配当政策

当社は、株主に対する利益還元を重要課題の一つとして認識し、株主への配当を安定かつ継続的に実施することを基本方針といたします。一方、事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金の拡充も重要な経営課題の一つと認識しているため、当面、自己資本比率が50%未満の間は連結配当性向25%を目指す所存です。

なお、剰余金の配当を行う場合は、中間配当と期末配当の年2回を基本方針といたします。

- 予想連結配当性向：22.0%
- 予想連結1株当たり当期純利益：149.92円

## 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	合計
今期予想 (2024年3月期)	13円00銭 (普通配当13円00銭)	20円00銭 (普通配当20円00銭)	33円00銭 (普通配当33円00銭)
(2023年3月期)	13円00銭 (普通配当8円00銭) (記念配当5円00銭)	20円00銭 (普通配当20円00銭)	33円00銭 (普通配当28円00銭) (記念配当5円00銭)

# 当社の強みと今後の取り組み

会社名	エフビー介護サービス株式会社 (FB CARE SERVICE CO., LTD.)		
本社	長野県佐久市長土呂159番地 2		
設立	1987年4月		
代表者	代表取締役社長 柳澤 美穂		
資本金	496,544千円		
従業員数	連結 1,011人 (ほか平均臨時雇用者数 219人) 当社 952人 (ほか平均臨時雇用者数 189人)		
事業内容	<p>■福祉用具事業 福祉用具貸与・販売 住宅改修 居宅介護支援</p> <p>■介護事業 介護付き有料老人ホーム 住宅型有料老人ホーム グループホーム 小規模多機能型居宅介護 看護小規模多機能型居宅介護 デイサービス 訪問介護 訪問看護 介護保険外サービス (食事提供サービス)</p>		
事業拠点数	<p><b>合計 118か所</b></p> <p>■福祉用具事業 福祉用具事業所 …………… 16 商品管理センター ……………2 居宅介護支援事業所 … 20</p> <p>■介護事業 介護付き有料老人ホーム …… 7 住宅型有料老人ホーム … 15 グループホーム …………… 16 小規模多機能型居宅介護 … 13 看護小規模多機能 …………… 2 デイサービス …………… 16 訪問介護 …………… 7 訪問看護 …………… 3 相談支援事業所 …………… 1</p>		
エリア別拠点数	長野県(60) 新潟県(14) 群馬県(12) 栃木県(9) 埼玉県(15) 東京都(8)		

【事業展開エリア】



信越・北関東エリアで展開  
東京都多摩市でM&Aにより  
事業開始 (2022年11月)  
介護事業 8事業所

- ▶ 介護用具レンタルの「**福祉用具事業**」と介護施設運営の「**介護事業**」の2セグメント
- ▶ 多様なニーズに対応できるワンストップサービスを提供

## ■ 福祉用具事業

ベッド・ベッド付属品 マットレス



45.6%

54.4%

床ずれ防止用具



車いす・  
車いす付属品



手すり



歩行器・歩行車・  
歩行補助杖



連結売上高  
2023年3月期  
**9,619** 百万円

## ■ 介護事業

有料老人ホーム（22か所）  
（住宅型・介護付き）



小規模多機能型居宅介護  
（15か所 看護小規模含む）

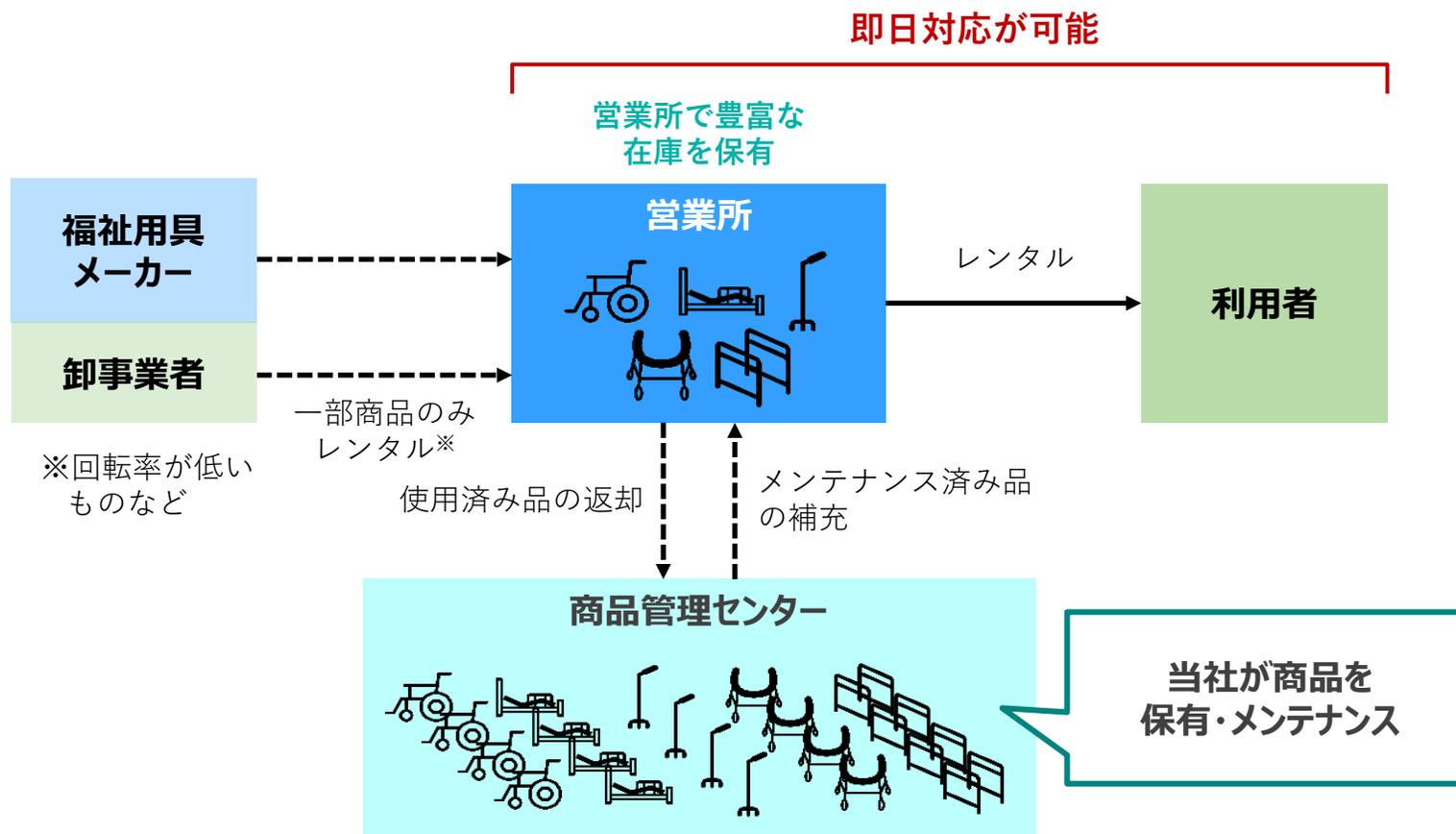


グループホーム（16か所）



その他の在宅サービス・生活支援サービス  
デイサービス、訪問介護、ケアプラン作成、  
生活支援サービス、  
訪問看護ステーション

➤ 24時間・365日の顧客対応と自社での商品保有・メンテナンスで、利用者ニーズの高い即日対応を実現

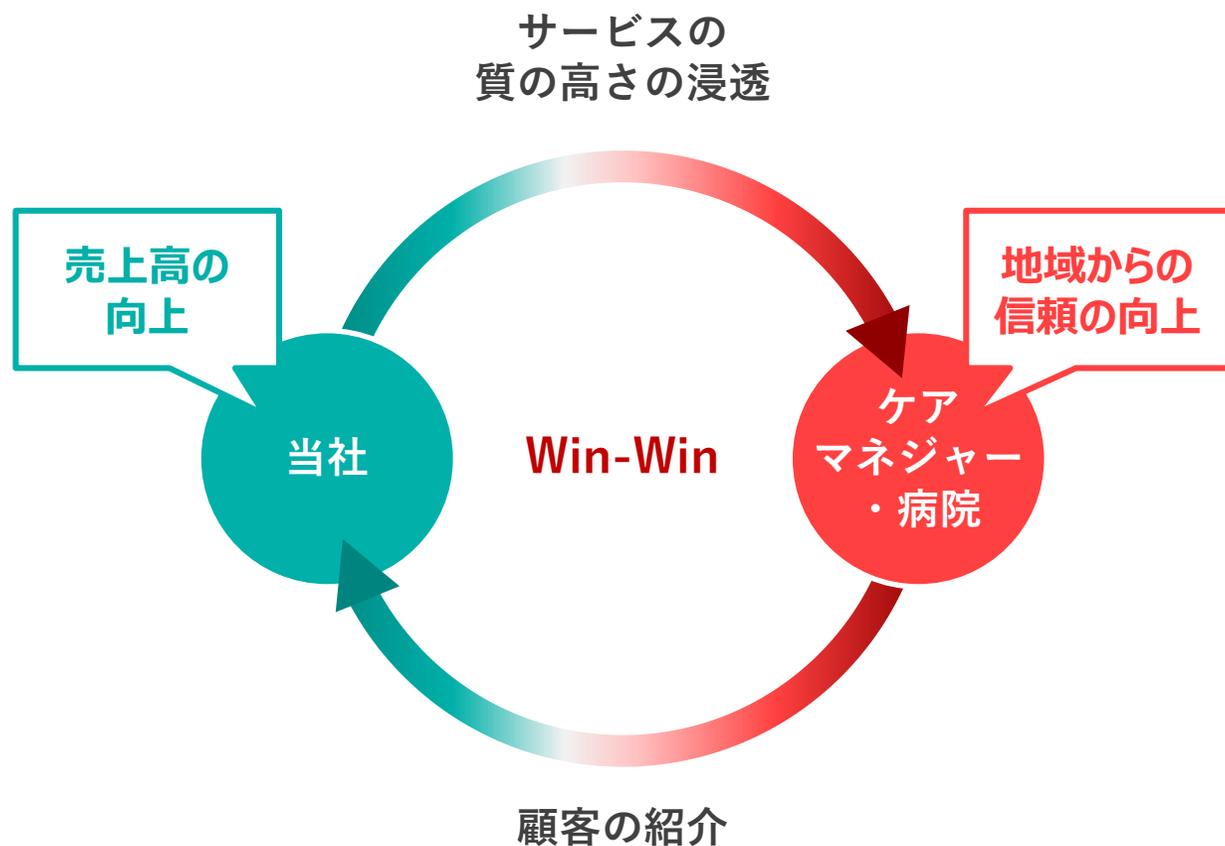


- ▲ 投資・人員が必要
- 柔軟な対応が可能
- 収益性が高い

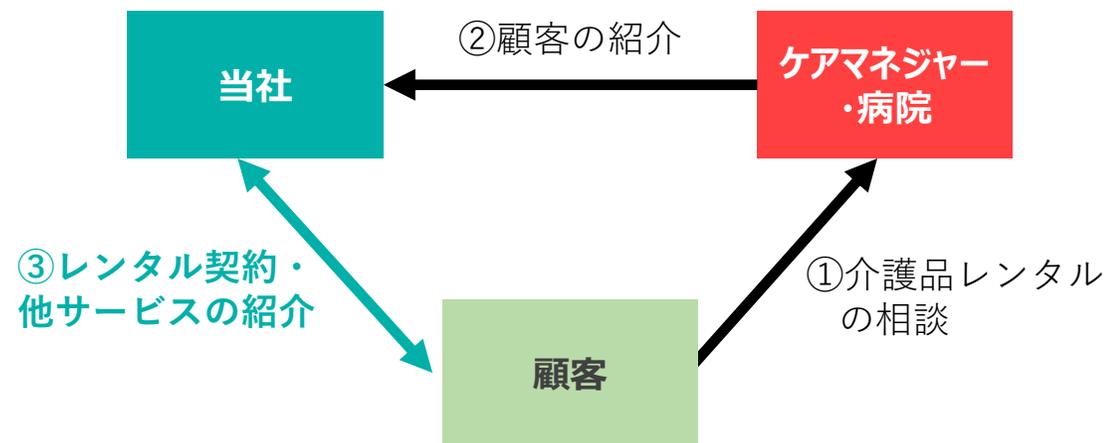


**実績と経験があり、シェアが高いから  
成り立つモデル**

- 質の高いサービスを地域のケアマネジャー・病院に浸透し、ケアマネジャー・病院から当社に顧客を紹介していただく関係が構築されている

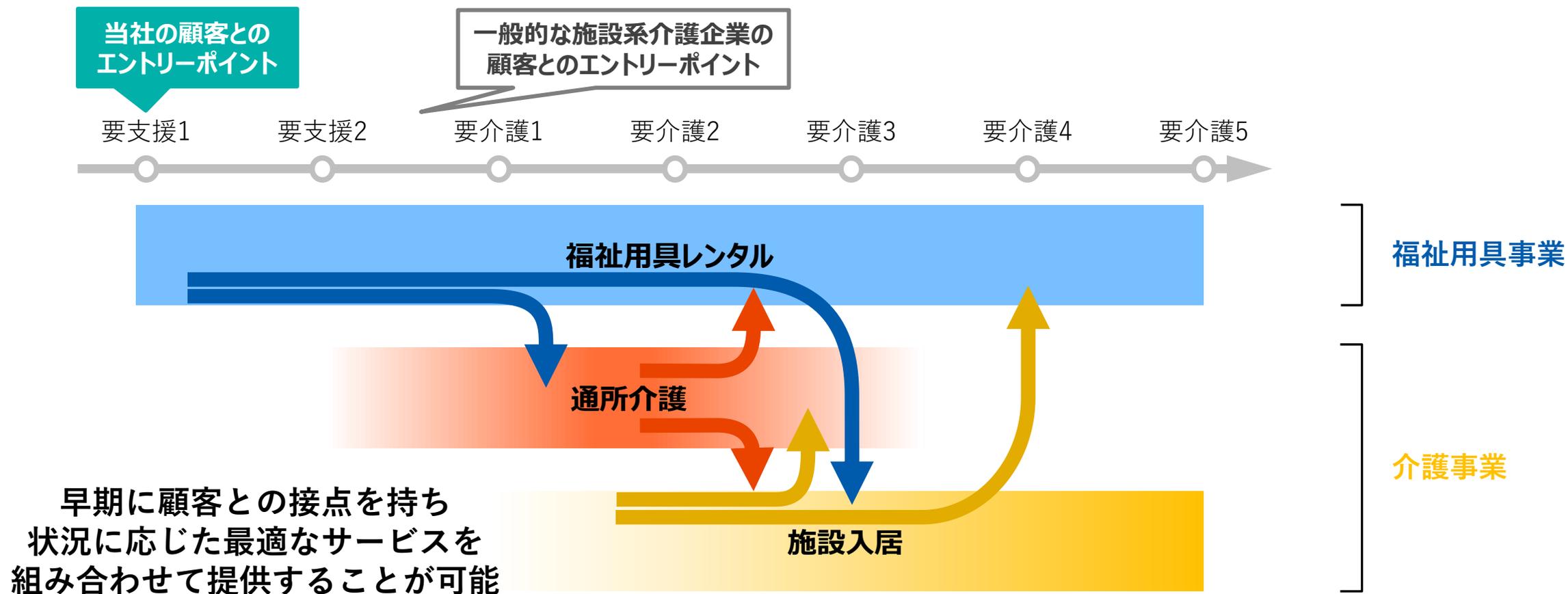


ケアマネジャー・病院と顧客の関係



- ▶ 介護用品レンタルで顧客と早期に接点を持ち、その後の要介護度の高まりに応じて当社介護施設へ案内できるため、新規エリアの開拓と既存エリアでの追加出店が行いやすい事業モデルを構築

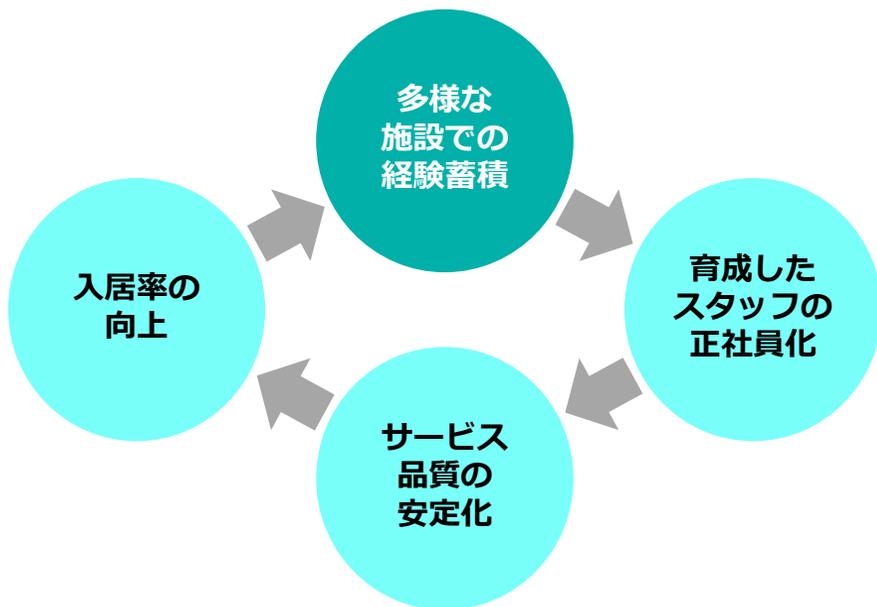
## 要介護度と当社サービスの関係



➤ 積極的な正社員登用と海外人財の採用により不足する介護人財を確保

## 多様な施設運営を背景としたスタッフのスキル向上

- 多様な活躍の場の提供と定期的な研修によって人材の質と定着率の向上を実現



## 特定技能・技能実習生の採用

- ベトナム、フィリピン、ネパールの看護大学、介護学校と連携し、現地の介護大学卒業生に研修を行った上で当社施設で就業させることで早期に戦力化

アジア国内の看護大学・介護学校



看護大学卒業生を募集



当社



来日



当社で研修、就労



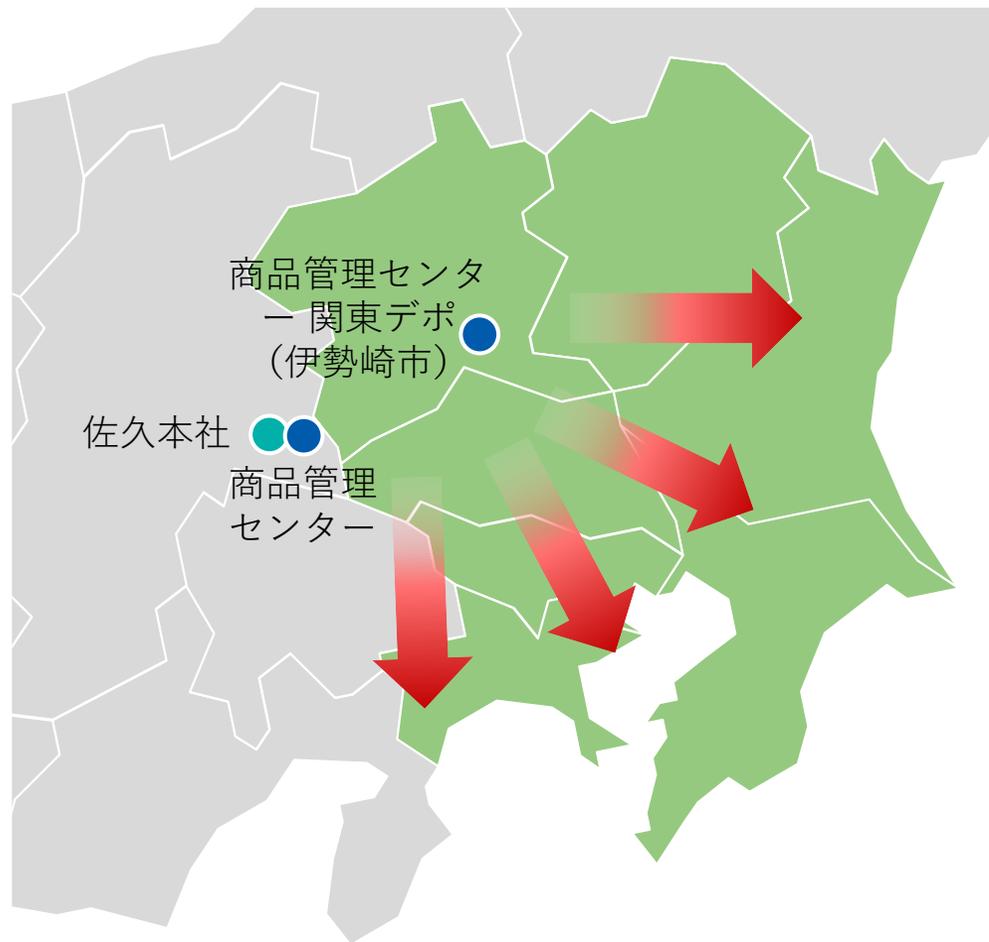
## 海外人財が働きやすい環境を整備

- ✓ 専門部署（海外人材開発課）を設置し、手厚い管理の実施（教育と相談窓口）
- ✓ 日本での介護福祉士資格取得のサポート など

**現在、当社グループにおいて、24事業所に41名の海外人財が就労しています。**



- 福祉用具から介護まで、福祉に関するワンストップサービスの提供エリアを拡大



## 福祉用具事業

- 当社の強みである即日対応を行うため、商品管理センターと関東デポからのアクセスが容易なエリアに事業所を開設
- 外部事業者と連携し、地域の顧客ニーズを把握するとともに、スピード対応による展開を模索
- 新規の事業所については、既存の事業所からの顧客を移管することで、早期に収益化を図る

## 介護事業

- 事業所の新規開設とともにM & A 案件等などに取り組むことにより、効率的な事業拡大を目指す。

## 事業所開設の推移

事業所名	2022年 9月末現在	2023年 3月期	2024年 3月期予定
介護付き有料老人ホーム	6	7	7
住宅型有料老人ホーム	15	15	15
グループホーム	15	16	19
小規模多機能型居宅介護	13	13	13
看護小規模多機能型居宅介護	1	2	2
デイサービス	12	16	16
訪問介護	6	7	7
訪問看護	2	3	3
相談支援（障害）	1	1	1
福祉用具レンタル・販売	15	16	16
（福祉用具）商品管理センター	2	2	2
居宅介護支援（ケアマネジャー）	19	20	20
<b>合 計</b>	<b>107</b>	<b>118</b>	<b>121</b>

### ◆ 2023年3月期 開設

- ・ 長野県諏訪市グループホーム2ユニット
- ・ 長野県松本市看護小規模多機能（住宅型有料併設）
- ・ 埼玉県羽生市グループホーム2ユニット増室
- ・ 長野県佐久市住宅型有料老人ホーム「ケアライフ聖」  
介護付き有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）に転換

### ◆ 2024年3月期 開設予定（公募選定済）

- ・ 長野県安曇野市グループホーム2ユニット
- ・ 新潟県糸魚川市グループホーム2ユニット
- ・ 栃木県小山市グループホーム2ユニット

### ◆ M&Aの状況

- ・ **2022年11月 東京都多摩市「シルバーアシスト株式会社」**  
事業内容  
デイサービス4拠点（多摩市×3、日野市×1）、訪問介護、  
訪問看護、居宅介護支援、福祉用具レンタル・販売

※2024年3月期は既に公募選定済のみを記載しております。今後も各自治体において公募情報が有りましたら社内精査のうえ参加する予定です。

## 株式会社シルバーアシスト

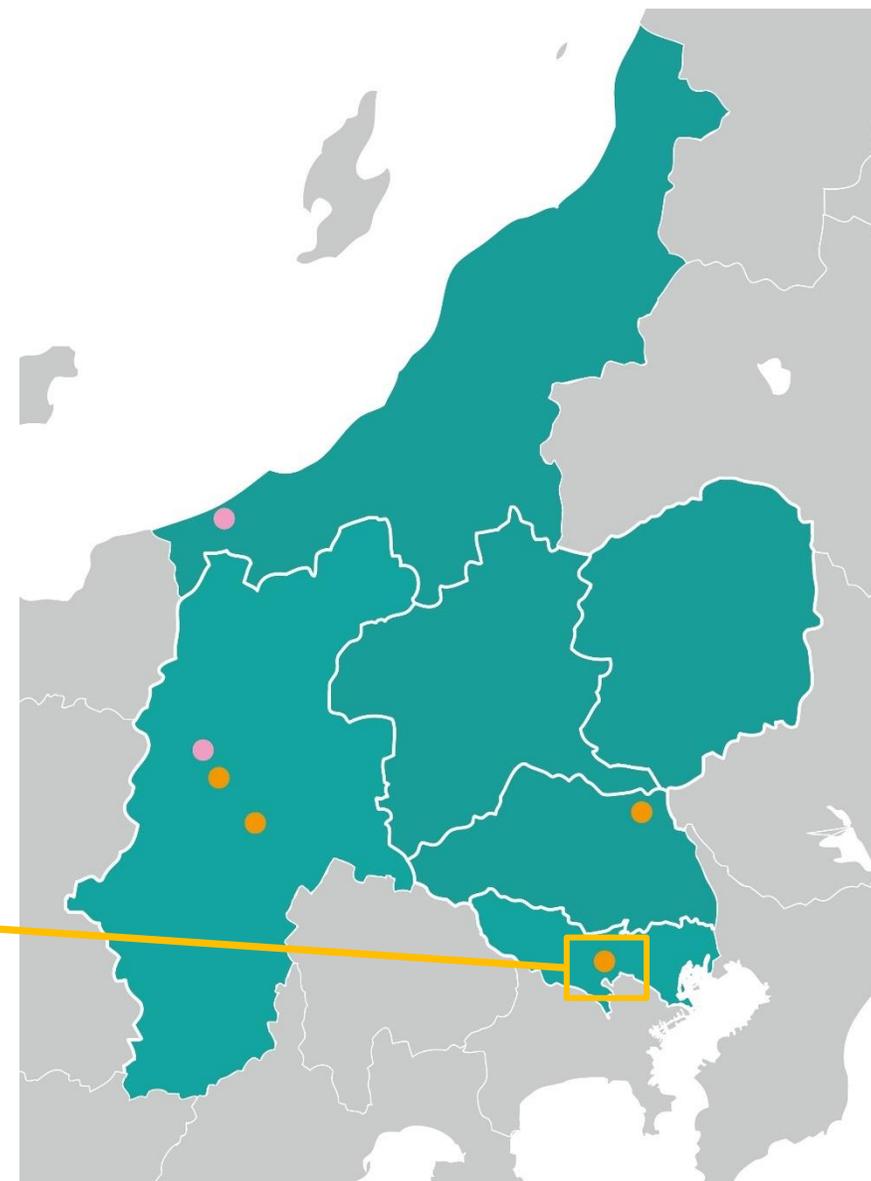
事業所名称	株式会社シルバーアシスト
本社所在地	東京都多摩市落合三丁目9番地の1
創業・設立	1999年10月1日
事業内容	訪問看護事業、訪問介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業 福祉用具レンタル・販売事業、住宅改修事業、障がい者総合支援事業
従業員数	85名



デイサービスセンター青木葉カフェ



●シルバーアシスト運営介護施設





## 株式会社シルバーアシスト

## 事業内容一覧

施設名	業態	開設年月日	住所
デイサービスセンター百草	地域密着デイ	2007/05/01	日野市百草999 百草団地2-8-1-101
デイサービスセンター聖蹟桜ヶ丘	地域密着デイ	2011/01/01	多摩市関戸4-11-7 シャルム第2聖蹟桜ヶ丘1階
デイサービスセンター青木葉カフェ	地域密着デイ	2014/05/01	多摩市落合2-6-3 メゾンドフォンテン1階
デイサービスセンター諏訪	地域密着デイ	2007/10/01	多摩市諏訪5-9-5 森建物1階
ふれあい多摩ケアセンター	訪問介護	2000/04/01	多摩市落合3-9-1 小山ハイツ1階
ふれあい多摩ケアセンター	居宅介護支援 障がい者総合支援	2000/04/01	多摩市落合3-9-1 小山ハイツ1階
株式会社シルバーアシスト	福祉用具レンタル・販売	2002/11/01	多摩市落合3-9-1 小山ハイツ1階
ふれ愛訪問看護ステーション	訪問看護	2000/04/01	多摩市落合3-9-1 小山ハイツ1階

## あったかほーむかまだ・ケアライフかまだ

事業所名称	①看護小規模多機能型居宅介護 あったかほーむかまだ ②住宅型有料老人ホーム ケアライフかまだ
創設地	長野県松本市鎌田2丁目8番33-4号
開設年月	2023年3月
居室数及び入居定員	①定員29名 ②入居定員14名
当社近隣事業所	【松本市】福祉用具松本営業所、グループホーム波田 グループホーム岡田松岡、ケアライフ笹賀



あったかほーむかまだ  
ケアライフかまだ

建設地：長野県松本市鎌田2丁目8番33-4号



●弊社運営介護施設    ●今期開所予定施設



## グループホームエフビー諏訪沖田

事業所名称	(認知症対応型共同生活介護) グループホームエフビー諏訪沖田
創設地	長野県諏訪市沖田町一丁目141-3
開設年月	2023年3月
居室数及び入居定員	18室(2ユニット) 入居定員18名(9名×2)
当社近隣事業所	【松本市】福祉用具松本営業所、グループホーム波田 グループホーム岡田松岡、ケアライフ笹賀



グループホーム  
エフビー諏訪沖田

建設地：長野県諏訪市沖田町一丁目141-3



● 弊社運営介護施設    ● 今期開所予定施設



## グループホームエフビー羽生

事業所名称	(認知症対応型共同生活介護) グループホームエフビー羽生
創設地	埼玉県羽生市大字藤井上組字藤井399-1
開設年月	2023年3月
居室数及び入居定員	27室(3ユニット) 入居定員27名(9名×3)
当社近隣事業所	【熊谷市】福祉用具熊谷営業所 【羽生市】デイサービス井泉、小規模多機能あったかほーむ藤井



建設地：埼玉県羽生市大字藤井上組字藤井399-1



## グループホーム安曇野

事業所名称	(認知症対応型共同生活介護) グループホーム安曇野
創設予定地	長野県安曇野市豊科4382番地1、4383番地1
開設予定日	2024年4月1日
居室数及び入居定員	18室(2ユニット) 入居定員18名(9名×2)
当社近隣事業所	【松本市】福祉用具松本営業所、グループホーム波田 グループホーム岡田松岡、ケアライフ笹賀



グループホーム  
安曇野



● 弊社運営介護施設 ● 前期開所施設

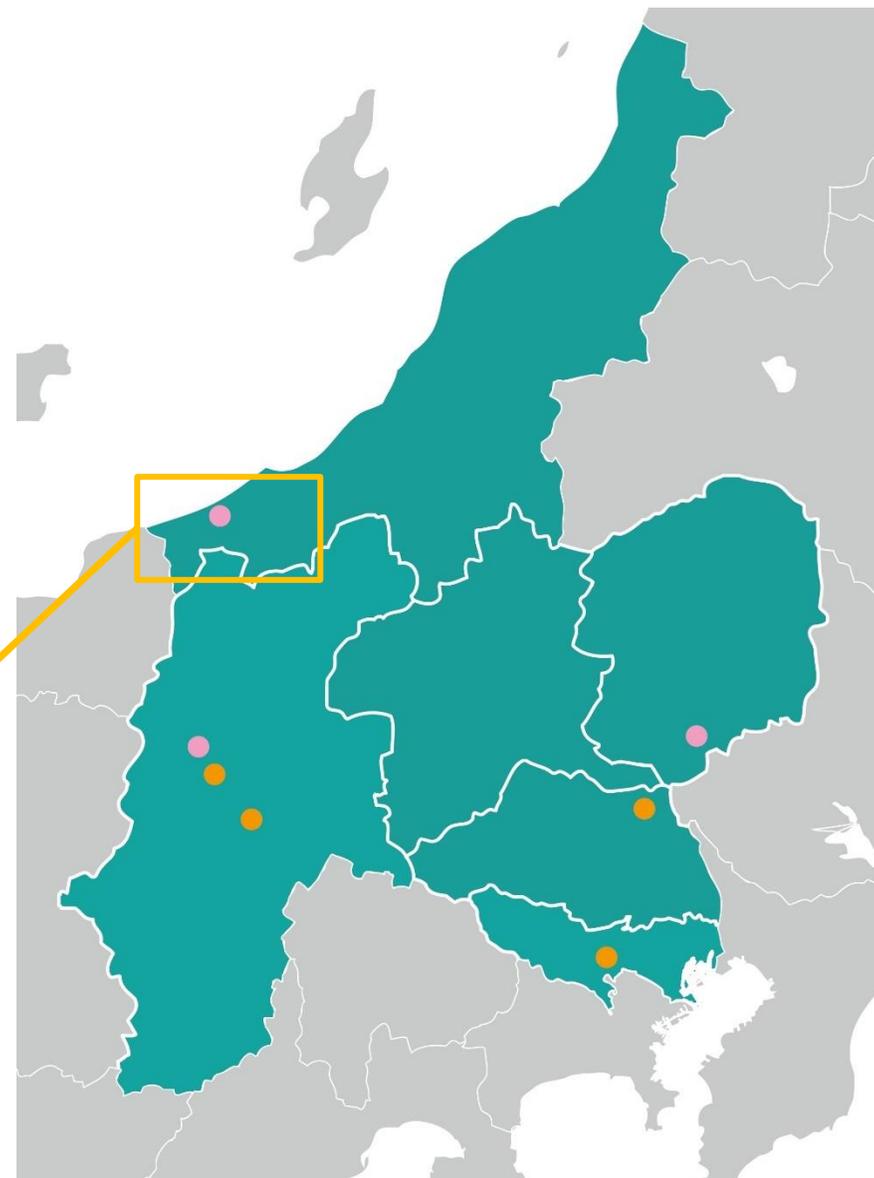
## グループホームエフビー糸魚川

事業所名称	(認知症対応型共同生活介護) グループホームエフビー糸魚川
創設予定地	新潟県糸魚川市南押上3丁目地内
開設予定日	2024年3月1日
居室数及び入居定員	18室(2ユニット) 入居定員18名(9名×2)
当社近隣事業所	【上越市】福祉用具上越営業所、有料老人ホーム ケアライフ春日 小規模多機能 あったかほーむかすが、デイサービスかすが

グループホーム  
エフビー糸魚川

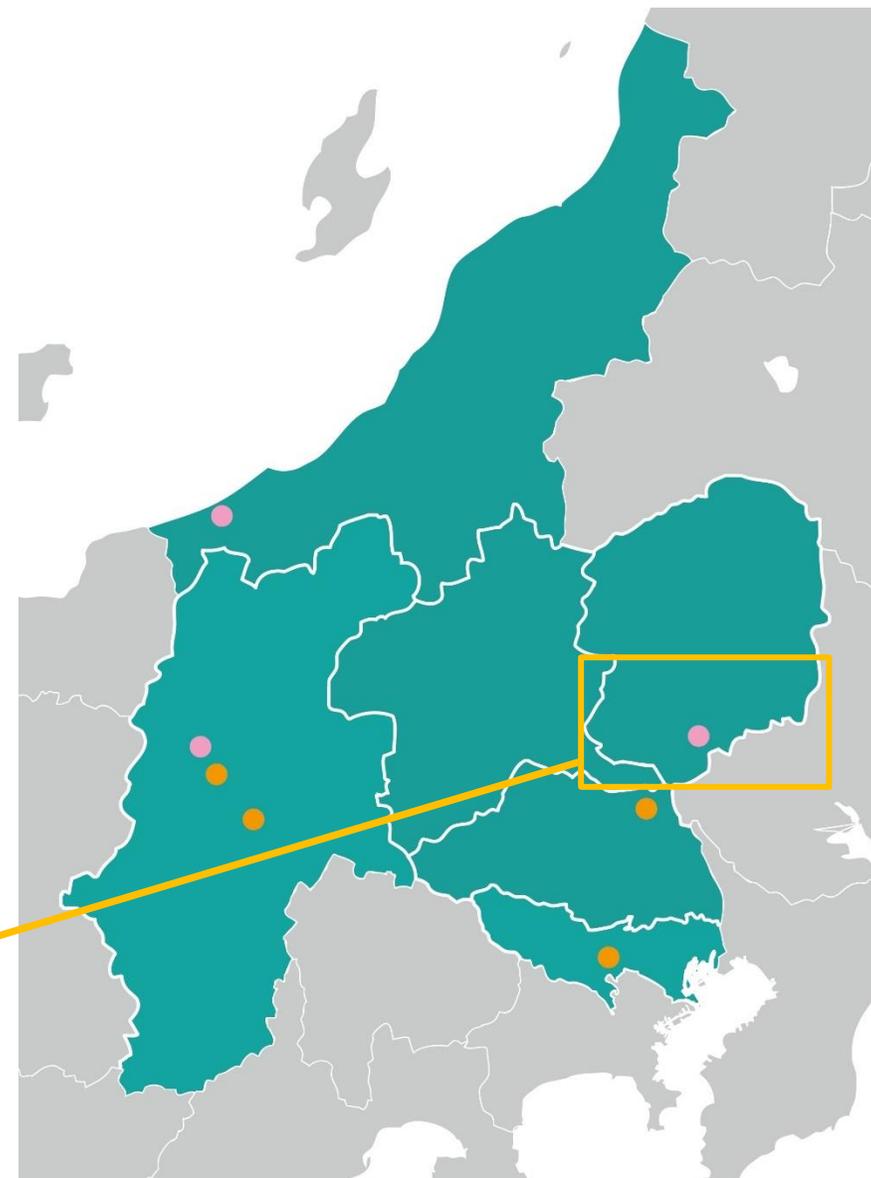


● 弊社運営介護施設



## グループホームエフビー小山

事業所名称	(認知症対応型共同生活介護) グループホームエフビー小山
創設予定地	栃木県小山市大字出井字巽本郷
開設予定日	2024年4月1日
居室数及び入居定員	18室(2ユニット) 入居定員18名(9名×2)
当社近隣事業所	【小山市】 小山営業所(福祉用具事業所) 【栃木市】 グループホームエフビー今泉



グループホーム  
エフビー小山



● 弊社運営介護施設

ルルパ株式会社は、県内の有料老人ホーム・デイサービス・小規模多機能・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・障がい者支援施設への食事提供業務を受託しています。また、毎日の献立は低農薬新鮮野菜など地元の食材を使用し季節折々の旬の味覚を大切にして、利用者様・施設様のご意見ご要望を伺い工夫しています。

健康管理の源は食生活であるという認識の基で、専門スタッフによる栄養バランスのとれた食事を提供しております。

会社名	ルルパ株式会社
設立	2014年1月
事業内容	高齢者施設・障害者支援施設の食事サービス ＜その他対応可能施設＞ 企業給食・保育園・幼稚園
本社	〒385-0021 長野県佐久市長土呂159-1 TEL：0267-68-7710
代表取締役	柳澤 美穂
資本金	500万円
従業員数	63名（常勤40名・非常勤23名）
受託件数	10施設、15拠点
加盟団体	日本メディカル給食協会
売上高	335百万円（2023年3月期）
当期純利益	17百万円（2023年3月期）

## 特色は・・・ **地産地消**

### 土地柄と季節に合ったものを食す「身土不二」

身土不二とはその土地で取れた食材をその時に旬のまま食すという意味です。当社の栄養管理課が作成した「身土不二」の献立で利用者様に特別感、季節感を感じてもらい伝統に触れていただきます。

これらの取り組みにて、おもてなしの原点を表現します。

お米は信州立科産コシヒカリのみを使用、野菜はグループ会社の農園と専属契約専任のスタッフが育てた低農薬野菜を使用しています。いつもとれたての野菜をお客様のお膳にお届けします。



### 「安心」「安全」「美味しい」への取り組み

事業所責任者はもとより全スタッフに各種勉強会へ参加させ、資質向上に努めています。

衛生管理及び品質向上のため、メディカル給食専門の当社独自による調理についての基準書を作成し、各事業所に配備しています。

▶ 地域に密着した介護サービスをワンストップで提供し、地域オンリーワン企業として今後も継続的に発展

- 社会的信用力を高め、より多くの人材を獲得
- 企業知名度の向上による持続的な成長の実現



# 人生の最終ステージを 利用者様の幸せと満足で元気にする

